北崎病院で出会う人々
People met in the Kitasaki hospital



冷静沈着なリーダー

沓掛真一
Shinichi Kutsukake

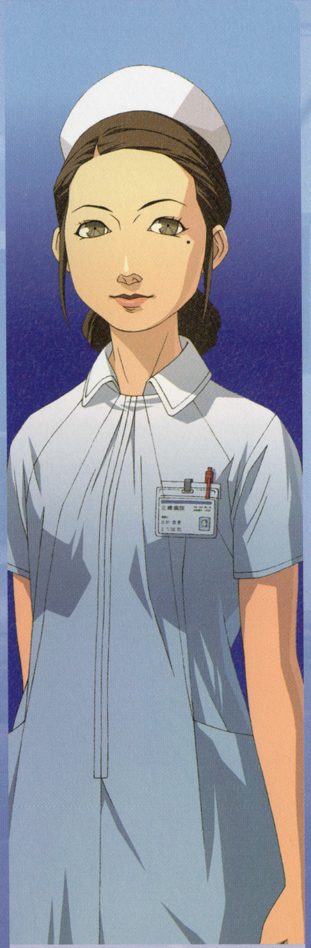
北崎病院の院長。38歳。沓掛宗二の双子の兄。冷静沈着をモットーとするリーダー的な存在として、かつて月森の指導医を務めた。



麗しき鉄の女傑

沓掛さやか
Sayaka Kutsukake

北崎病院の麻酔医長で沓掛真一の妻。旧姓は「明神」。35歳。カドゥケウスに勤務していたころは「鉄の女」と呼ばれる女傑であった。



北崎病院の母親役

古村百恵
Momoe Furumura

かつて北崎病院に勤めていたベテランの手術助手。42歳。かつて研修医として北崎病院に入局してきた月森の面倒を見ていたことがある。

物語を彩る人々
People who surround story



ギルス撲滅をめざす免疫学者

天羽恭司
Kyoji Amou

利根川アンジュの父。48歳。免疫学者でギルスに詳しい。かつて娘を人質にされ、やむなく医療テロ組織「デルフォイ」でギルス研究を行なっていた。



医療制度の急進改革論者

長澤晃比呂
Akihiro Nagasawa

厚生労働省のキャリア官僚。52歳。日本の医療制度の急進的改革論者。一流医師育成プロジェクト「GHP」を創設する。



謎多き美人社長

黛怜奈
Rena Mayuzumi

アクロポリス製薬の社長。35歳（年齢不詳という説もある）。財界では有名な美人社長で政界にも太いパイプを持つ。